

# 議会だより



## 「安乗の稚児」詩碑

安乗岬園地（阿児町）に建つ伊良子清白の詩碑（昭和58年建立）。

清白の詩集に収められた「安乗の稚児」の一節、「荒壁の小家一村 こだまする心と心 稚児ひとり<sup>おそれ</sup>恐怖をしらず ほゝゑみて海に対へり」が刻まれている。「安乗の稚児」は、清白の代表作であると同時に、明治詩壇に輝く不朽の名作。

清白は、鳥羽市小浜の開業医であったが短歌の指導者としてもよく知られ、鳥羽志摩には清白の教えを受けた人も多い。  
(出典：阿児町史)

志摩の句碑・歌碑③

## 第2回定例会

### 主な内容

平成26年度一般会計補正予算を可決	2ページ
各常任委員会の審査結果	3ページ
本会議での討論	5ページ
一般質問「市政のここを聞く!」	7ページ
常任委員会管外研修レポート	16ページ
議会のうごき	20ページ
こんにちは志摩びとさん	20ページ

# 平成26年第2回定例会を開催

平成26年第2回定例会を6月6日から6月30日まで25日間の会期で開催しました。この議会では、補正予算をはじめ、平成25年度予算に関する報告2件、条例の一部改正8件など、合計13議案を可決し、一般質問では9人が活発な議論を展開しました。

## 主な一般会計補正予算の内容

- ◆戸籍住民基本台帳費・・・・・・・・ 977万円  
社会保障・税番号制度の導入に必要なシステム整備を行うための経費
- ◆生きがい対策事業費・・・・・・・・ 226万円  
高齢者の就業機会を拡大するための高齢者就職支援事業に係る経費
- ◆健康増進事業費・・・・・・・・ 1002万円  
働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業に係る経費
- ◆観光情報発信事業費・・・・・・・・ 100万円  
市のゆるキャラの着ぐるみを作成するための経費
- ◆事務局総務費(教育費)・・・・ 3814万円  
児童生徒の送迎乗降場所の用地購入のための経費

## 平成26年度 一般会計補正予算を可決

6月20日に議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を開催し、付託された一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算について審査しました。(委員長 井上裕允・副委員長 谷口 覚)  
その結果、平成26年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれに7561万円を追加し、予算総額246億5690万円となり、国民健康保険特別会計予算は、歳入歳出それぞれに364万円を追加し、予算総額78億248万円となりました。



**問** どのようなものを作る予定なのか。  
**答** 市のゆるキャラである「あおサー」は、年間50日程度イベントに参加しています。現在のもはビニール製で中が透けて見えるため、生地を変えて新調します。  
あわせて、旧志摩町のゆるキャラの着ぐるみも作成する予定です。

## ゆるキャラの 着ぐるみを 作成

## 主な質疑

## 磯部小学校付近 の用地を購入

**問** 磯部小学校付近の用地購入について詳しく説明願いたい。

**答** 磯部小学校周辺の道路は、小・中・高校が隣接することから、送迎の車等で混雑し、かねてより児童生徒の交通事故等が危惧されてきました。また、地域住民の通勤等の妨げにもなり、ご迷惑をお掛けしています。

平成28年度には、磯部幼保一体化施設が完成することから、より一層、児童生徒の安全の確保が必要となります。

このような状況の中、磯部小学校の対向かいの地権者からご協力が得られることになりましたので、送迎乗降場所の用地購入経費として予算計上しました。

# 常任委員会の審査から

## — 付託案件・主な質疑 —

6月17日に総務財政委員会（委員長 森 昶、副委員長 畑美津子）、18日に教育民生常任委員会（委員長 中村和晃、副委員長 渡辺友里夏）、19日に産業建設常任委員会（委員長 山際 優、副委員長 福田和義）を開会し、各委員会に付託された案件について、それぞれ審査しました。

### 総務財政常任委員会（1件）

#### ○ 税条例の一部改正について

・・・・・・・・（賛成全員）

地方税法の一部が改正されたことに伴う条例の一部改正

#### 主な質疑

#### 軽自動車の登録台数および税収の推移

問 平成26年度の登録台数は。

答 二輪は50cc以下が6,405台、50ccから90ccが450台、90ccから125ccが400台、ミニカーが70台、125ccから250ccが500台、250cc以上が550台、農耕作業用が245台、その他が75台で、二輪合計は8,695台。

また、三輪以上は、三輪が2台、四輪以上の乗用営業用が6台、乗用自家用が1万4,750台、四輪以上の貨物用営業用が70台、貨物用自家用が8,120台で、三輪以上の合計は2万2,

948台です。

問 推移はどのようなになっているのか。

答 軽自動車税の決算額は、平成22年度が1億3,954万円、平成23年度が1億4,138万1,000円、平成24年度が1億4,306万8,000円で、年々微増で推移しています。

#### 減額措置に一般家庭は非該当

問 「新築住宅等に対する固定資産税の減額の規定の適用を受けようとする者がすべき申告」には、一般家庭は該当しないのか。

答 耐震改修促進法に基づいて、耐震診断を義務付けられた多数の利用施設、病院、旅館等において耐震改修が行われた要安全確認計画記載建築物に対して減額措置を行うものであり、一般家庭は該当しません。

### 教育民生常任委員会（5件）

○ 幼稚園保育料減免措置に関する条例の一部改正について・・・・・・・・（賛成全員）  
国が定める幼稚園就園奨励費補助金に係る補助限度額の要件の一部が改正されたことに伴う条例の一部改正

○ 社会教育委員に関する条例の一部改正について・・・・・・・・（賛成全員）  
社会教育法の一部が改正されたことに伴う条例の一部改正

○ 児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正について・・・・・・・・（賛成全員）  
閉園した神明幼稚園施設を神明児童館と位置付けるための条例の一部改正

○ 国民健康保険病院事業の設置等に関する条例の一部改正について・・・・・・・・（可否同数）  
市民病院の管理を指定管理者に行わせることができるようにするための条例の一部改正

○ 放課後児童クラブ条例の一部改正について・・・・・・・・（賛成全員）  
閉園した波切幼稚園・波切保育所施設を大王放課後児童クラブと位置付けるための条例の一部改正

※「国民健康保険病院事業の設置等に関する条例の一部改正について」は、可否同数のため、議会委員会条例の規定により委員長が裁決し、可決となりました。



## 主な質疑

### 社会教育委員 の選定基準

**問** 「家庭教育の向上に資する活動を行う者」とあるが、どのような方か。

**答** 子育てサークルのリーダー、子育てのサポート、家庭教育に関する相談員、児童福祉士等を想定しています。

### 神明児童館を 改修

**問** 市内児童館の直近の利用者数と神明児童館の改修内容は。

**答** 6月1日現在の利用者数は、神明児童館35名、国府児童館16名、鵜方児童館59名です。神明児童館の改修内

容は、旧神明幼稚園の園舎を利用するため、小児用トイレを少し大きめのものに改修します。また、教室等の空調設備も整備し、さらに安全対策として、高さ2m50cmのフェンスを32m周囲に設置します。

**問** 7月24日に入札を行い、工期は9月20日までを予定しています。

### 現在の市民病院 機能を維持

**問** 現在の病院の機能を維持していくために、指定管理者制度を導入したいとのことであるが、いつ時点のどのような機能か。

**答** 現在、市民病院は一般病床50床、療養病床40床、他に外来患者の受入れを行っています。この機能を維持していきたいと考えます。

### 大王放課後児童 クラブを改修

**問** 放課後児童クラブの利用者数と大王放課後児童クラブの改修内容は。

**答** 4月1日現在の利用者数は、大王12名、志摩16名、浜島15名、磯部39名で、春休み期間中ということもあり、若干増えています。

大王放課後児童クラブの改修内容は、旧大王幼稚園の園舎を利用するためトイレの改修、ネットフェンスの設置、および門扉と駐車場を整備し、送迎車7〜8台が駐車可能となるよう考えています。

工期は9月20日までを予定し、10月1日からの運用を目指しています。

## 産業建設常任委員会（2件）

- 鵜方駅前公共駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について・・・（賛成全員）  
指定管理者が行う業務範囲を明確にするための条例の一部改正
- 市営住宅管理条例の一部改正について・・・（賛成全員）  
関係法律の名称が改正されたことに伴う条例の一部改正

## 主な質疑

### 鵜方駅前の指定 管理と利用車両 の状況

**問** 条例の題名の一部を『鵜方駅前公共駐車場』から『志摩市鵜方駅前広場』に変更することであるが、駅前広場の指定管理の範囲および指定管理料は。

**答** 鵜方駅前の市営駐車場部分以外は指定管理の範囲となり、近畿日本鉄道に管理委託をしています。

**問** 指定管理料は、年間34万6,920円です。

**答** 駐車料および使用料収入はどのようなになっているのか。

**答** 平成25年度は、市営駐車場が135万9,200円、営業用バス、タクシーの駐車使用料

金は99万1,200円で合計235万400円です。

**問** 利用車両の種類のうち、乗入れ車両の定義は何か。また、その内タクシーは何台か。

**答** 乗入れ車両は、鵜方駅前で乗客を乗り降りさせる車両です。タクシーの乗入れ車両台数は27台です。



議案の審議結果一覧

	議案名	議決結果		
		賛成	反対	
報告第1号	平成25年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告		
報告第2号	平成25年度一般会計予算事故繰越し繰越計算書について	報告		
議案第41号	税条例等の一部改正について	賛成多数	18	1
議案第42号	幼稚園保育料減免措置に関する条例の一部改正について	賛成全員		
議案第43号	社会教育委員に関する条例の一部改正について	賛成全員		
議案第44号	児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	賛成全員		
議案第45号	国民健康保険病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	賛成多数	12	7
議案第46号	鵜方駅前公共駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	賛成全員		
議案第47号	市営住宅管理条例の一部改正について	賛成全員		
議案第48号	放課後児童クラブ条例の一部改正について	賛成全員		
議案第49号	平成26年度一般会計補正予算（第1号）について	賛成全員		
議案第50号	平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	賛成多数	18	1
議案第51号	工事請負契約の締結について	賛成全員		

本会議での討論

議案第45号

反対討論

指定管理者制度導入については、現時点では拙速感が否めず、病院を存続できるのか懸念している。市の医療体制をいかに守るか継続審議としながら、議会で仕様書の中身をしつかりチェックし、議員として責任が持てる時点で判断したい。

賛成討論

市は、市民の医療体制維持のために、毎年5億円超の一般会計負担金を投入して病院維持をしているが、今後は同様に投入する事は困難と予想される。医療体制維持のためには、指定管理制度導入も視野に入れ、前向きに検討すべきである。

反対討論

指定管理者制度を病院に導入すること自体に反対である。

医療施設は直接市が責任を最後まで持つべきで、利益優先の民間に渡して、その公的な責任を後退させるべきではない。

賛成討論

市立病院の医師確保、収支改善は限界であり、病院運営協議会答申にも改善が見込めない場合は指定管理を望むとある。診療体制を維持する手法があるなら、それを検討できる状態を確保し、市民病院を守り地域医療を守りたい思いから条例改正に賛成する。

※討論内容は要約のため全文は、会議録をご覧ください。

# 動議を否決

- 議案45号志摩市立国民健康保険病院事業の設置等に関する条例の一部改正について特別委員会を設置し審査を求めることについて . . . . . (賛成少数)

※第2回定例会、6月30日開催の本議会において、議案45号について特別委員会を設置し継続審査を求める動議が提出されましたが、賛成少数で否決となりました。

※【動議】主として会議の進行または手続きに関し、議員から議会に対してまたは委員から委員会に対してなされる単純な提議であって、議会または委員会の議決を経るべきもののことをいう。動議の提出権者は議員に限られる。(出典:地方議会運営事典)

## 人 事

### ●農業委員会委員

次の4名の方を農業委員会委員として議会推薦することに決定しました。(敬称略)

森 安千代 (浜島町)  
磯和 常孝 (志摩町)  
北村 忠弘 (阿児町)  
稲葉 ひさ代 (磯部町)

### 「お詫びと訂正」

平成26年6月1日発行の「しまし議会だより第38号」で、記載に不正確な表現がありました。正しくは以下のとおりです。

・P22一般質問と答弁の概要(森昶議員)  
2段目8～10行目の「市長の答弁」

(誤) 浜島地区は、全域が津波浸水域で津波到達時間予想は20分。

(正) 浜島町は、全地区で津波浸水域を有しており、地震発生から20分以内に津波が到達する地域であります。

関係者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正します。

## インターネットで会議録が閲覧できます

市議会では、市ホームページにおいて平成17年11月以降の定例会・臨時会および各委員会の会議録を公開しています。

質問等の詳細は、志摩市議会会議録をご覧ください。

### 会議録検索システム

【志摩市ホームページ】→【志摩市議会】→【志摩市議会会議録】

URL <http://www.kensakusystem.jp/shima/index.html>

平成26年第2回  
定例会の会議録は  
9月ごろ公開  
予定です。

※平成17年10月以前のものについては、各図書館(室)、各支所に設置の会議録を閲覧してください。



# 志摩市誕生10周年 平成26年度事業を問う



中村 達久  
議員

市政のびるを聞く！

## 9 議員が一般質問

### ごみの現状を問う

**問** 収集ごみと持ち込みごみの量を問う。

**市長** 4月の可燃ごみの処理量は約1161トン、5月は1262トンで、やまだエコセンターへの搬入計画量に対して、4月が102トン、5月が91トン超過しています。超過ごみの一部はあご清掃センターで焼却しています。

**問** 違反ごみ対策を問う。

**生活環境部長** 違反ごみに違反内容を記入したシールを貼り、一定期間監視を行い、自治会と協議のうえ回収しています。

**問** 阿児一般廃棄物最終処分場の跡地利用は。

**生活環境部長** 今後の整

備については、本年4月に自治会、関係者の皆様と協議しました。12月には実施設計が完了します。



さらなるごみの減量を

### 防災・防犯を問う

**問** 内閣府では9年ぶりに避難勧告、避難指示の目安となる指針を改訂しました。市の見直しは。

**市長** 市では、新たなガイドラインを踏まえ、本年度中に発令基準の見直しを行いたいと考えています。

**問** 前にも質問しましたが避難の際の要援護者台帳の整備の進捗状況は。

**市長** 平成23年度から整備更新を進めてきました。



役目を終えた斎場あご

### 斎場あごの跡地利用は

**問** 鵜方の火葬場（斎場あご）の取り壊しは。

**市長** 平成27年度に建物解体にかかる調査設計を行い、調査結果を踏まえ速やかに撤去する計画です。

### 稼げるまちづくりについて

**問** 本年度の観光入り込み客の現状は。

**市長** 今年度のゴールデンウィークの観光入り込み客は、15万9955人で前年度比12.2%の減少でした。

**問** 稼げるまちのための具体的な施策は。

**市長** 志摩里海学会構想の実現や6次産業化、農水商工連携による地域産業の活性化に向けた取り組みを進めます。

### 臨時福祉給付金

### 子育て臨時特例

### 給付金について

**問** 周知や申請時期等について。

**市長** 給付金の申請時期は、8月1日から11月4日とします。該当者には7月下旬に通知させていただきます。

### 学校再編について

**問** 東海中学校、安乗中学校の統合は。

**市長** 8月中に東海地区、安乗地区の保護者に同一会場にお集まりいただき懇談会を開催させていただきます。

**問** 志摩中学校、大王中学校の現状や課題は。

**市長** 授業や部活動に活気が生まれたなどの肯定的な意見が多く、課題は、通学路の安全確保についての意見をいただいています。

### 市民病院の指定管理者制度について

**問** スケジュールに無理はないか。

**市長** 現段階ではスケジュールどおり進めていきたい。市民との対話、病院職員の要望、市議会や病院運営協議会からの意見等を総合的に考え、導入時期について見直す必要があれば柔軟な対応をしたいと考えています。

# 主役は子どもたちです



大西 美幸  
議員



**問** 現在、市は小中学校再編基本計画に基づき、編入、統合による学校再編が進められているが、安乗、東海中学校の統合について、平成27年4月の開校予定が見送りになった今、今後の統合に向けての教育委員会の考えは。

**市長** 両地区の保護者の思いも聞かせていただいていると思いますが、両地区の思いにずれがあり、溝が埋まらないことから、冷却期間を置くために、一旦、見送りました。今後は、8月中旬に両地区の保護者の皆様にお集まりいただき、学校再編の懇談会を開催する予定です。

**問** 新年度となり、両地区の自治会長、PTA役員も新しくなり、「現状での引き継ぎ、経過の説明などは行った」とのことだが、新役員の意見はいかがか。

**市長** 今回の再編問題は、大変大きな問題です。地域の方々と話し合う中で、現段階では地域への思い入れが強く、肝心の子どものたちの姿が見えなくなってしまうと思います。ここに大きな原因があると思います。今後はそれらを踏まえ、子どもたちにとって、何が大事でどうあるべきかをしっかりと話していきたいと思っています。

その後の進捗状況と、職員への説明と今後の対応は。また、予定をしている期限までに指定管理者が決定しなかった場合の想定は。

**市長** 導入方針としての具体的な内容ですが、導入施設、施設の概要、利用状況、休診日、診療時間、業務の範囲などは、現在の診療部門や透析部門、訪問看護ステーション部門など、現在の医療機能維持を前提としています。選定方法は公募とし、指定期間は平成27年4月1日から、平成37年3月31日の10年間で、指定管理料については、地方交付税の算出方法を基礎とし、管理者候補と市の協議によって決定します。

**市長** 今回の再編問題は、大変大きな問題です。地域の方々と話し合う中で、現段階では地域への思い入れが強く、肝心の子どものたちの姿が見えなくなってしまうと思います。ここに大きな原因があると思います。今後はそれらを踏まえ、子どもたちにとって、何が大事でどうあるべきかをしっかりと話していきたいと思っています。

## どうなる

### 市民病院

**問** 5月1日、市民病院の指定管理者制度導入のためのスケジュールが公表されたが、私はこのスケジュールは非常に過密だと受け止めているが、

職員との個人面談、出さ





# 行財政改革に伴う 組織機構の見直し



西崎 甚吾  
議員

**問** 行政改革大綱を見直すのか、実施計画について進捗管理や検証と、効果が上がる次の計画策定は。

**市長** 大綱について平成26年度、大きな修正はありません。

実施計画は毎年、各課に進捗状況と取り組みについて報告を求めています。

今後は、効果額の把握や年度ごとの取り組みがよりわかる内容に変更していきます。

**問** 財政健全化アクションプログラムについて、次のプログラムを反映させた財政計画はいつになるのか。

**市長** 5年間の第1次アクションプログラムは、4つの主な改革に取り組み、順次、実行され財政健全化に寄与したと判断しています。

第2次アクションプログラムを反映させた平成27年度から10年間の財政計画を9月に策定します。



**問** 行政改革の計画とともに、行政組織の機構改革を実施する必要があるのでは。

**市長** 機構改革、組織再編は必要であると考えています。簡素化した、より効率性の高い組織が求められ、縦割り行政の弊害をなくした即応性、柔軟性のある組織改革の実現に取り組んでいます。

## 指定管理者制度 導入とその後の 検証や評価

**問** 市民病院に制度導入方針の決定が遅れた理由と、一番利用する地域の皆さんへの対応は。

また、医療のあり方と地域全体の経費等を考えた運営を考えるべきだが。

**市長** 平成26年度は病院事業を縮小して運営し、指定管理者制度の導入は平成27年度を目標に行うと、一年少し前から説明しており、導入決定が遅れたとは考えていません。各自自治会へ説明に出向いたり、自治会市政懇談会で説明を行いました。今後は市民集会の場で説明します。

医療提供体制がどのような状況にあるのか、地域全体で医療機関の運営経費がどの程度必要かをよく考えて、市民病院の運営や地域医療も理解すべきとの意見に同感です。



指定管理者制度導入施設

が、理想と現実には差があり現在の医療資源で何ができるか、まず大切にしていきたいと考えます。

**問** 市の60施設が指定管理者により運営されているが、導入施設の検証や評価は。また、更新時に協定書等の見直しや協議検討をして改善を行ったか。

**市長** 平成18年度から指定管理者制度導入が始まり、現在2施設が公募、58

施設が非公募で選定した管理者が運営を行っているが、管理者は毎年、事業報告書を提出し業務報告も適宜行っています。業務等に収益性がなく地元自治会を始め諸団体が非公募選定で運営する施設では、維持管理が主で協定内容の見直しは少ないが、再検討時には管理運営状況を検証し改善点を協議することが不可欠であると認識しています。



福田和義  
議員

# 市民病院の今後の問題について



**問** 命と健康、安全安心に医療施設と福祉施設は絶対欠かせないものであり、医療においては市民の声を中心に、費用対効果のみならず市民の命と健康を守る立場を堅持し、市民が平等にサービスを受けられる市の医療体制を構築する必要があると、市長は選挙公約の中でもはっきりと述べられているが、救急医療、市民の信頼される医療体制は確保できるか。

**市長** 市民病院における救急医療対応については、これまで以上に困難な状況となっていますので、4月1日以降、夜間診療

業務については、休止させていたっていますが、引き続き休止のままさせていただき、市民の皆様にはできる限り正規の診療時間内での受診を心がけていただきます。

**問** 指定管理者制度の導入について、市民にどのように説明していくのか。

**市長** 病院事業部において、各自治会への指定管理者制度導入に関する説明に出向いており、5月13日に志摩町自治会連合会役員会、5月15日に浜島町自治会連合会総会、5月23日に阿児町自治会連合会総会、5月26日に磯部町自治会連合会正副会長へ、おのの説明を行っています。また、5月22日の自治会市政懇談会においても同様に説明を行い、今後、市民集会の場においても説明を行っていきたいと考えています。

**問** 病院職員の身分保障は大丈夫か。

**市長** 重要課題であり、慎重に取り組みたいと考

えています。指定管理者制度に伴う職員の処遇とすることでは、病院事業部と交えて1回目の協議を行ったところですが、病院事業部において職員アンケート調査や今後予定している職員個別面談による要望および意見も考慮しながら、検討を重ねていききたいと思っています。

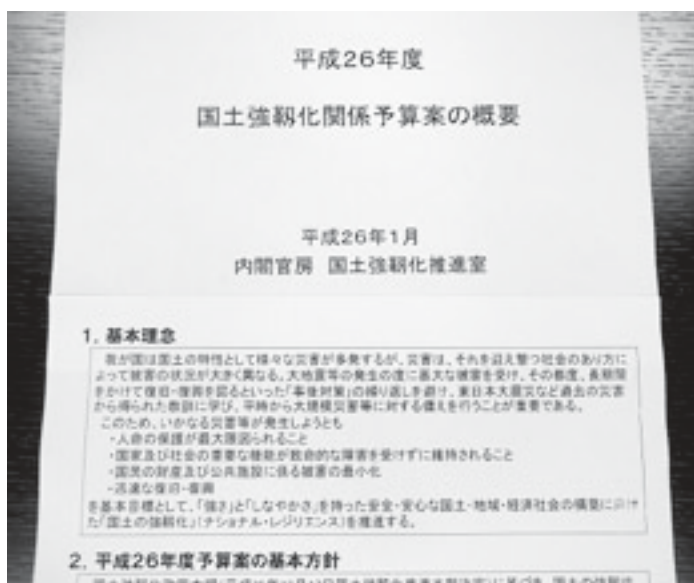
## 防災対策と 廃校舎の 利活用について

**問** 市における国土強靭化計画は、各課においてどのような考えか。

**市長** 国土強靭化とは、いかなる災害等が発生しようとも、人命の保護が最大限図れること。国家および社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること。国民の財産および公共施設に係る被害の最小化、迅速な

復旧・復興を基本目標として、強さとしなやかさを持った安全安心な国土、地域、経済社会の構築を推進するものである。

※その他、「廃校舎を利用した高齢者住宅を考えていないのか」、「南海トラフ大地震に対応する防災対策は」について、質問をします。







山 際 優  
議員

# 早急にきめ細やかな防災対策を

## 安心できる 津波防災対策を 実行すべき

**問** 南海トラフ地震の津波浸水地域にある消防団の車庫・詰所の高台移転計画について問う。

**市長** 車庫の高台移転に



津波浸水地域の消防団詰所、車庫

については、老朽化が進み、現状で緊急性の高いものについては一部整備を進めています。本年度、地域ごとの津波避難計画を作成する中で、詰所や車庫の移転計画も作成します。

**総務部長** 予算の都合もあります。予算の都合も所等の高台移転の順位づけを、年次計画でやっていくことになると思います。

す。

**問** 畔名コミュニティ施設は、津波浸水地域であり、避難所指定の保育所施設は高台にあります。廃園となったため避難所としての位置づけが明確でないため、地区の皆様が不安を抱えています。避難所の位置づけを早急にすべきではないか。

**市長** 公共施設の避難所は、学校や公民館など、普段は別の目的で設置している施設を災害時に避難所として活用することが原則であります。このため、廃止となった施設については、新たな利用がなければ、避難所として指定しておくことは困難であり、避難所指定を解除しなければならないと考えています。畔名地区の第三保育所の位置づけについては、地元自治会から相談を受けており、内部でもその活用方法を検討しています。津波避難計画の一つとして、地元自治会と協議して早急に結論を出します。



廃園となった畔名「大王第三保育所」

**問** 志摩市地域防災計画の中において、被災者が夜間でも安全に避難ができるように、発電装置、照明装置の整備、また避難所には太陽エネルギーを活用した発電設備の整備をうたっているが、その進捗状況を問う。

**市長** 現在のところ、ほとんど進んでいません。最近、太陽エネルギーと蓄電施設を組み合わせた設備が出てきており、国もこれらを推奨しています。南海トラフ特別措置法の補助メニューには含まれていませんが、重要課題として検討しています。

## 市広報の 発行を再検討 すべきでは

**問** 三重県は、広報の各戸配布をやめ、回覧配布としたが、志摩市の広報はどの程度読まれているか、調査をしたことがあるかを問う。

**市長** 平成21年3月号の広報しまへの挟み込みにより、アンケート調査を実施しました。内容は、「広報しまをどの程度読んでいるか、読みやすさ、文字の大きさ、よく読む記事、読まない記事」などを問うものでありましたが、回収率が悪く、1万8千5百件の配布数に対し60件の回収で回収率は0.32%でした。



# どうなっているのか 保育士の処遇改善



坂口 洋  
議員

**問** 安心こども基金による保育士等の処遇改善について、市の実施状況は。また、保育士以外の職員、非常勤職員も対象となるものだが、実際に対象となつて処遇改善が図られているか。

**市長** 昨年度、市内2民間保育園から申請があり、389万4千円の補助金を支出しました。2園の保育士等に係る処遇改善内容は、常勤職員を対象に給与基本額の改善や賞与の引き上げ、処遇改善に係る手当の支給を実施した保育園と、非常勤職員を含む全職員対象に一時金の支給を実施した保育園となっております。

**問** 正規職員、非常勤職員の格差が広がるような実施のされ方であつてはならない。市の指導はできるのか。

**市長** 対象職員も含め、幅広く対応するような指導を行っていきます。

## 多徳島の 再利用を

**問** 多徳島の再利用については、これまで、さまざまな要望や意見が寄せられてきたが、市長はどう考えるのか。せめて旧阿児町時の状態にまで戻し、責任ある管理をすべきではないか。

**市長** 旧阿児町時代の管



理状況までの復旧については、特に問題がないとの見解を持っています。しかし、作業内容において周辺環境への影響等も懸念され、現状復旧の整備については、現在の財政状況と再利用について十分な協議が必要と考えています。歴史ある、由緒ある島の再利用として活用方法を検討し、今後協議を重ねていきたいと考えています。

## 病院の指定管理者 制度導入に市長に 寄せられた声は

**問** 市民病院への指定管理者制度導入の方針を示した後、市長のもとへはどのような声が寄せられているか。

**市長** 指定管理者制度導入を選択した理由、職員の身分移行・雇用についてなど、多様な意見と書面による申し入れや要望も寄せられています。

**問** 十分な市民合意を得なければ先へ進めない点があります。一つは、地域医療の中で市民病院に今後どこまで役割を担ってもらふのかという点。二つ目は、病院を指定管理者に渡して、市の財政健全化にどれだけつながるのかという点。三つ目に、職員の身分移行の問題。6月議会で条例改正し、事業者の公募に入るのは拙速で認められない



のではないかと。

**市長** なんとかなるだろうという、軽い気持ちでやっています。ドクターが3名になり、今の医療を維持できるのか、本当に瀬戸際になっている。医師確保の余裕がなくなつたのが現状です。いくら私が責められても結構です。市民のための病院を残すため、ご理解・ご支援をお願いします。

# インターネット依存防止・ICT教育導入 反転授業の市の取り組みを問う



渡辺友里夏  
議員

**問** インターネット依存を防止するための市での取り組みは。

**教育長** 文部科学省作成のリーフレットや三重県健康福祉部作成のガイド等を各学校に配付するなどし、情報モラル教育の一層の充実、インターネット依存の防止に努めています。

**問** 反転授業、授業と宿題の役割を反転させる授業形態についての見解は。

**教育長** 反転授業を取り入れた実施校では、子どもたちが主体的に学ぶ態度が育つとともに、学力向上につながっているなど、成果が報告されています。一方で、教員にとっては、教材としての動画の選定や作成にかなりの時間が必要になります。ハード面での整備が必要となりますが、厳しい財政を考えた場合、現時点での導入は極めて困難と考えます。

工夫や改善ができれば、児童生徒にとって、有効な授業方法の一つになります。

得るものと思っており、将来に向けての研究材料と考えます。



**問** ICT教育、情報・コミュニケーション技術を活用するための教育の導入について、見解と現在の市の教育現場でのデジタル化の現状は。

**教育長** 市内の学校において、電子黒板、書画カメラ、実物投影機、プロジェクター等を活用して、授業が工夫されています。学習指導要領の中に、

得るものと思っており、将来に向けての研究材料と考えます。

コンピューターや情報通信ネットワークなど情報手段に加え、視聴覚教材や教育機器など、教材、教具の適切な活用を図ることとの記述があり、教員のICT活用能力向上のため、志摩市情報教育研修会を実施しています。

## アプリを活用した行政サービスの ビズの今後は

**問** スマートフォン用のアプリを活用した、現時点での行政サービスと今後の方針は。

**市長** 市は、ほぼ全域がケーブルテレビ網により、情報伝達手段が整備されています。また、社会インフラなどの整備により、光ケーブル通信網の整備も促進されてきており、順次、通信網の整備が行われているところです。平成24年度には、施設利用者の利便性の向上と

災害時に情報等が得られるよう、市内14カ所の公共施設にソフトバンク、松阪ケーブルテレビのWiFiスポットを設置しました。

**企画部長** 地域情報化計画に基づき、コミュニティ情報システム、防災情報システム、学校教育情報システムなどの整備を

行い、情報化に取り組んできましたが、現在、スマートフォンアプリケーションを活用した情報提供の具体的な計画はありません。

今後は、事務事業の情報発信等の手段として、有効性を検証するように促していきたいと思っています。



東海中学校 PC教室



# 平成30年度に 志摩市は財政破綻か



野名 澄代  
議員

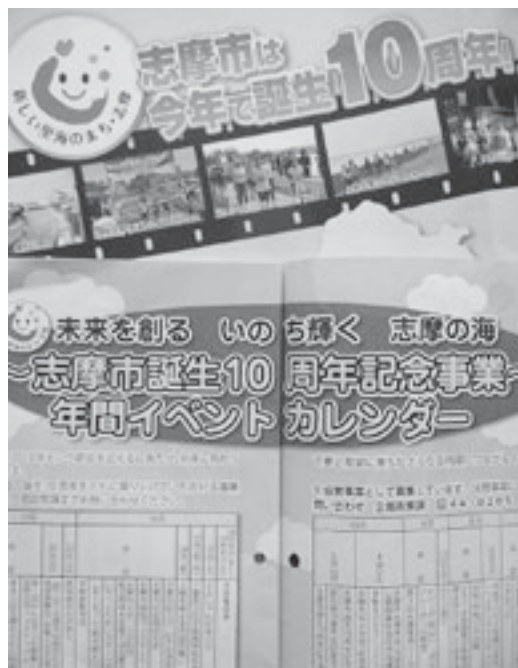
**問** 平成21年11月議会に提出された財政健全化アクションプログラムには、市の基金が平成30年度に1億9586万円、平成31年度には17億4167万円も不足すると示されている。この基金不足をもとに平成31年度の市の財政状況を具体的に説明されたい。

**総務部長** 確かに平成30年度・31年度はマイナスですが、今後、財政計画を組み立ててその解消に取り組んでいきます。

**問** 赤字を穴埋めする財源がなくなった状態は、会社でいえば倒産です。平成30年度に予算が組めないということは、市が財政破綻すると示していないのか。

**副市長** 平成21年度につくった財政計画を見直し、平成30年度に予算が組める状態にもつていきたい。

**問** 平成21年度の財政計画では、市は平成30年度末に財政破綻すると示されていたが、つぶれないように見直すということ



か。

**副市長** そういうことにならないよう見直しを行うということです。

**市誕生10周年  
記念事業費  
2000万円を問う**

**問** 市誕生10周年記念事業に2000万円余りを使っているが、厳かな式典で功労者を表彰し、市民に今後10年間の厳しい財政協力をお願いしたほうが良いと思う。記念事

業の一例として、フラダンスにハワイから歌手と演奏者を呼び寄せて100万円。一晩で花火を打ち上げて300万円。熊野市の観光客誘致の花火大会と志摩市の記念事業の花火大会は違う。このような大判振る舞いをしながら、一方では財政が厳しいといっても、市民は信用しない。市長の見解は。

**市長** 10周年を市民とともに祝いたいし、これを契機としてより飛躍したい。まず市としての一体感を醸成したいということです。



## 市民病院の 存続を

で、指定管理に踏み切りました。

**問** 指定管理の条件として「市民病院を病院として残す」、「現在の医療機能を維持する」と明言を。

**市長** 何床になるか分かりませんが、病院機能を持たせたい。

**問** 医師不足の対応策として、市独自の医師奨学金制度を創設する考えは。

**市長** 内部でしっかり前進できるような協議をしながら、次に答弁できる形にしたい。

**空き施設を  
老人福祉施設に**

**問** 花園寮の改修費が2億5000万円計上されているが、この財源で空いた学校等を改修して、軽度の要介護者や行き場のない高齢者が低額で住める老人福祉施設にする考えは。

**市長** 旧校舎の転換はかなり厳しいと思います。



# 市の観光施策と 伊雑宮の遷宮対策は



畑 美津子  
議員



遷宮に向けて準備がすすむ伊雑宮

**問** 平成25年は伊勢神宮の遷宮効果により多くの観光客が訪れ、経済効果も大きなものがありました。今後の観光客増に向けた市の施策は。

**市長** 観光客が訪れやすい環境づくりに努め、市の特性を生かした里海ツアーの企画にも取り組んでいきます。

**問** 市内の文化、祭りを観光資源として活用し、

また全国に情報発信していくべき。市の考えは。

**市長** 市内には多くの景勝地、伝統行事、祭り等誇れるものがあります。それらをPRし集客に努めていきます。志摩地域には誇れるものがたくさんありますが惜しいのは歴史や文化への市民の思いが若干欠けている。ですからせつかくある地元の宝が見えない。その結果、

市外に発信出来ないのではない。地域のことを心豊かに自分たちの町を誇れる。それが観光客等と呼び込めることとなります。

**問** 伊勢神宮別宮伊雑宮の遷宮をいろいろな意味でのチャンスととらえ生かしていくための予算は。市内外への周知、案内をし、観光客や参拝客に來てもらうための施策はどうするか。お白石持ち行事に多くの皆様に参加していただく考えは。

**市長** 予算は、伊勢志摩キャンペーン負担金と御食つ国志摩誘客推進事業委託金で対応します。入込客への周知等は、食や自然、宿泊を絡めたキャンペーンの展開や伊雑宮の遷宮に合わせた海女さん感謝祭を検討しています。また、参拝や見学の宿泊プランを作成しPRします。市民への遷宮の周知は広報しま、ホームページ、ケーブルテレビ、行政チャンネル等でしていきます。

**問** 空き家には、まだ人の住める空き家と人の住めなくなった、放置すれば危険となる空き家があります。市は空き家バンク制度を実施しているが現状はどうか。

**市長** 現在の登録件数は3件でそのうち1件成約しています。今後登録を増やす努力をしていきます。

**問** 人の住めなくなった空き家を放置すると危険です。今後増加が予想される空き家対策を市は考えているのか。

**市長** 空き家の適正な管理は全国的な問題です。県主催の廃屋に関する研究会などで情報収集をし、条例化など解決するための施策を検討していきます。

**問** 市内5町のケーブルテレビの放送内容は磯部のみ違っていて、統一すべきとの前回の質問に対し市長は実現に向けて努力すると答えていますが、その後の成果と今後の取り組みは。

**市長** 現在はケーブルテレビ会社間での地域情報の共有化について協議中です。今後は何回かZTVへ出かけて直談判をしていきます。

**市内の空き家  
対策始めるべき  
ケーブルテレビ  
市内統一化**

# 常任委員会管外研修レポート

7月、常任委員会（総務財政・教育民生・産業建設）の委員が、2日間の日程で管外研修を行いました。各委員長の研究レポートを掲載します。

7/2  
～3

研修先

兵庫県豊岡市・加西市・神戸市

委員長

森

昶

## 総務財政常任委員会

### 戦略的視点で行政経営を進める～豊岡市

昨今、多くの自治体は、基幹産業の空洞化や若年層の人口流出と少子高齢化等による税収の伸び悩み、国勢調査の人口減と合併特例措置終了に伴う普通交付税の減額、福祉関係需要額の急上昇傾向から、その収支は一樣に大変厳しい財政状況にあります。

今年度の総務財政常任委員会の管外視察研修として、兵庫県豊岡市では「行財政改革の取り組みについて」、加西市では「定住人口増加に向けた取り組み」について、神戸市の人と防災未来センターでは「防災・減災について」の調査・研究を行いました。

平成17年の合併から9年目を迎える豊岡市は、合併当初から行財政改革を最重要課題と位置付け、合併後、早々に第1次行

政改革大綱（H18年～21年）と第2次行財政改革大綱（H22年～25年）を策定し、大綱に基づく取り組みを着実に推進しており、今年度は第3次行財政改革大綱（H26年～33年）を策定し、行財政改革、財政健全化に取り組んでおります。

第3次行政改革の課題項目を①職員の意識改革と業務の改善、②新しい公共による協働の推進、③選択と集中によるサービスの展開、④効率的、



行財政改革・財政健全化について質問（豊岡市）

効果的な行財政運営の4方針としながら、改革の基本的な考え方（柱）を「財政危機への対応」「成果重視への転換」としています。この政策の目的を明確にしたうえで、(a)ゴール（結論）から考える。(b)目的は何かという全体から考える。(c)「しないこと」を決める。という『手法』、『戦略』で行政経営を進めるという、不退転の意気込みを感じました。

当市と比べると、行政改革の進捗状況は豊岡市の方が先行していますが、行政改革実施計画の進行

手順や要領は、ほぼ同じで大きな違いはありませんでした。本年、算定基準の見直しを行う地方交付税制度改正の動向に注視しながら、研修の成果を当市行財政改革の参考にしていきます。

### 全庁的に人口増の取り組みを実践～加西市

加西市が「定住人口増加に向けた取り組み」を市の重要課題と位置付けた経緯は、平成23年6月に就任された現市長の選挙公約で、「5万人都市再生」の実現を目指して、目的を明確にするため市の組織機構に「人口増政策課」を設置し、全庁的に人口増に取り組んだことによりです。

また、副市長を本部長、各所属長を構成員とする『人口増対策本部』と課長以下25名の職員で構成する『人口増対策プロジェクトチーム』を立ち上げ、人口増に向けて取り組んでいます。



総務財政常任委員会一行（加西市）

人口増対策プロジェクトチームは①土地・住宅、②産業・交通、③若者支援の3グループで構成されており、各々のテーマの施策を検討・立案し、人口増対策本部会議で実施の可否、実施担当部署等の最終決定を行います。これまでの人口増に向けた事業展開の成果として、平成25年度には、昭和61年以降減少傾向にあった人口減の流れに歯止めをかけることができた」と分析しておりました。組織機構の「人口増政策課」に代表されるよう



に、施策の目的を明確に  
わかりやすい行政手法で  
展開しており、当市とし  
ても大いに参考にすべき  
と共感しました。

また、神戸市の「人と  
防災未来センター」は、  
阪神大震災に限らず東日

本大震災についても学べ  
るように内容が充実され  
ており、地震と津波の両  
災害に対しての防災・減  
災対策の必要性や意識継  
続の大切さを再認識し、  
備えについて研修する事  
ができました。

## 教育民生常任委員会

委員長 中村 和晃

7/8  
~9

研修先 愛知県大府市・日進市  
静岡県藤枝市

### 幸齢社会を目指す取り組み～大府市

ウエルネスバレー構想  
とは、大府市と東浦町が、  
国や県管轄の全国でも数  
少ない高度な健康長寿分  
野機関が集積している

愛知県大府市では、ウ  
エルネスバレー構想とバ  
イオマス産業都市構想に  
ついて、愛知県日進市で  
は、一体施設で小中連携  
教育を行う新設校を、静  
岡県藤枝市では、めざそ  
う！健康・予防 日本  
一「ふじえだプロジェクト  
と」ということで、「ふじ  
えだ健康マイレージ」に  
ついて研修を行いました。

「あいち健康の森」とそ  
の周辺エリアを「ウエル  
ネスバレー」と称し、健  
康長寿の一大拠点の形成  
によって、子どもから高  
齢者まで幸せに齢を重ね

られる社会「幸齢社会」  
を目指す取り組みです。

また、関連した新産業の  
創出を課題とし、取り組  
むことで税収・雇用の確  
保を目標としています。

次にバイオマス産業都  
市構想は、知多地区（5  
市5町）において、生ご  
みバイオガス発電施設を  
拠点に、バイオマス資源  
とエネルギーを地産地消  
する「都市近郊型バイオ  
マス・新エネルギー利活  
用ネットワーク」の構築  
を目指しているものです。

当市での事業化となると、  
民間業者が名乗り出てく  
れないと厳しいのではな  
いかと思いますが、近隣  
自治体との協力を前提に  
前向きに考えていくこと  
は重要ではないかと考え  
ます。

### 小中連携教育のパイロット校～日進市

日進市では、小中一体  
型の校舎により、連携教  
育のメリットを最大限に  
生かせるような計画目標



共有スペースの中庭では小中学生の交流が図れる(日進市)

を立て、開校までに6年  
をかけ丁寧な準備を行っ  
たことが特徴的でした。

校内は、小・中共用ス  
ペースも含め、全体的に  
児童・生徒が使いやすい  
ように考えられ、交流が  
できるように配慮されて  
いました。すべてのこと  
において、教育委員会が  
中心となって、学校や保  
護者、子どもたち、住民  
の方々と一緒に作ってい  
くという姿勢を大事にし、  
丁寧に対応し、まさに現  
場を第一に取り組まれた  
結果でありました。学校  
統合を控える当市は大い

に参考にするべきであり、  
学校に関係するすべての  
人が関わって創っていく  
という意識を持ってでき  
たものは、開校後も関わ  
る人が変わってもずっと  
残っていくものであると  
思うので、しっかりと取  
り組んでいただきたい。

### ポイント制で健康と予防を意識付け～藤枝市

「ふじえだ健康マイレ  
ージ」は、毎日の健康目  
標を決め、目標達成のポ  
イントで市内外の協力店  
で特典が受けられます。  
このように、楽しみなが  
ら「健康」と「お得」を  
ゲットできる健康づくり  
を目的に、「健康・予防」  
の意識付けと健康行動実  
践者の拡大と定着化を図  
っています。

藤枝市と大府市は、「健  
康・長寿」の取り組みを  
市の特徴（メリット）と  
して発信し、住みたいま  
ちになるような行政の動  
きのもとに、これからの  
超高齢化社会への対応を



教育民生常任委員会一行(大府市)

考え取り組んでいました。  
その結果が人口増につな  
がっているんだと思いま  
した。  
当市は早くから高齢化  
が進み、都市部よりも早  
くピークを迎え、次第に  
高齢者も減少していきま  
す。今のうちに生産年齢  
の確保をしっかりとってお  
かなければ消滅集落へ確  
実に向かっていきます。  
若者から高齢者まで生き  
生きと働ける環境を常に  
意識をした取り組みの重  
要性は共通であり、そう  
いう意味でも、日進市の  
ような子どもの教育環境、





子育て支援の充実などの政策についても、地域全体で関わり、人口維持、増加につながるように取り組まなければならないません。研修先のいずれの事業も目的がはっきりしていてわかりやすく、施策と職員の意識も統一されて、市民にもわかりやすく伝わり、結果となつて表れているように思えました。

当市も、魅力ある特徴をしっかりと発信し、「住んでよし・訪れてよしの志摩市」実現に向け、さまざまな形で人口増加産業創出を図らなければなりません。併せて医療・福祉の志摩の理想形をしっかりと創造し、持続可能な自治体を作っていくかなければならないと強く感じた研修となりました。

7/3  
～4

研修先

岡山県岡山市、兵庫県明石市

委員長 山際 優

## 産業建設常任委員会

### 淡水で海水魚の養殖実験～岡山市

産業建設常任委員会は、7月3日と4日の2日間、岡山県岡山市の岡山理科大学と兵庫県明石市役所で視察研修を行いました。

初日、岡山理科大学では、「好適環境水の魚類養殖について」を調査目的とし、魚類の漁獲量の減少による食糧不足を補うため、効率が良く安定的な魚類養殖の事業化を目指すために、海水ではなく淡水で海水魚の養殖実験をしている施設を視察研修しました。

普通の淡水に海水魚を入れた場合には生きられないので、神経代謝に必要な物質（ナトリウム、カリウム、カルシウム）を淡水に転嫁して育成し

ており、塩分濃度は6ppt、PH7としていました。

今までに実証実験した養殖魚は、トラフグやクエ、ウナギ等で、そのほか研究段階の魚類もあるとのことでした。

魚の糞に含まれる窒素、リンの除去対策として、ろ過した水の循環過程において葉物野菜の栽培実



好適環境水の開発者山本准教授から説明を受ける(岡山市)



水槽で淡水魚と海水魚を同時に飼育(岡山市)

験にも取り組んでいました。

事業化を進めるには、経費との関係で高級魚を対象としています。

魚の糞に含まれる窒素、リンの除去対策として、ろ過した水の循環過程において葉物野菜の栽培実

縮されると共に、病原菌もないために生存率も高く、事業化は可能であると感じました。実際に事業化に取り組まれる場合には、相談に乗る旨のお話もいただきました。

ではないかと思えます。  
国との協力で海域の貧栄養化対策～明石市

二日目には、「水産業振興事業について」を調査目的に明石市における漁業振興対策について研修しました。

当市とは異なる漁場環境であるため、施策は異なる部分が多いのですが、事業の成果検証は市単独では行わず、県の外郭団体で行っているとのことでした。

近年、海域の貧栄養化が問題視され、明石海域では黒ノリの色落ち等があり、国土交通省との協議を経て下水道処理水の放流水質を通常のBOD濃度15ppmをノリ養殖期間限定で25ppmで放流しているとのことですが、1カ所の下水処理場からの放流水であり、少量であるため、成果については確認できていないとのことでした。

### 管外研修報告書を作成します

同研修は、議員の資質向上を図り、議会機能の向上と円滑な議会運営を目指すことを目的に行っています。研修後は、参加した議員が研修レポートを作成し、報告書として1冊にまとめ、議員同士の情報共有や今後の議員活動に活用することとしています。



産業建設常任委員会一行(明石市)

ppm以下であり、黒ノリの品質や生育において、問題を抱えていることから、青ノリ漁場に面している下水道処理水のBOD濃度の再検討を模索しても良いのではないかと感じました。

# 平成26年第2回臨時会を開催

5月1日に第2回臨時会を開催し、承認2件、議案1件が可決されました。また、鳥羽志勢広域連合規約の改正による議員選挙が行われ、市選出議員が1名追加となりました。

## ○ 物品購入契約の締結について

ごみの運搬の効率化を図るため、4tコンテナ脱着車1台とコンテナ6台の購入と、老朽化の車両更新の対象である2tのパッカー車4台の購入を一括契約し締結しようとするもの。

## 選挙

### ● 鳥羽志勢広域連合議会議員

指名推選により、次の方が当選しました。

井上 裕允 議員（市選出）

	議 案 名	議決結果		
		賛成	反対	
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (平成25年度一般会計補正予算(第5号)について)	賛成全員		
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて (国民健康保険税条例の一部改正について)	賛成多数	18	1
議案第40号	物品購入契約の締結について	賛成全員		

## あなたも、議会を傍聴してみませんか

市議会は、市の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。

**ぜひ、傍聴にお越しください**

- いつでも、だれでも自由に傍聴できます。
- 受付簿に氏名を記入していただくだけです。
- 本庁6階までお越しください。
- 傍聴席は34席あり、車いす対応スペースもあります。
- 通常、本会議は午前9時から開会されます。
- 委員会の傍聴は、各委員長の許可により傍聴できます。



**市役所1階ロビーで議会中継を見ることができます(本会議のみ)**

# しましは志摩びと

## 阿児町鶴方 西村好信さん



プロフィール  
5年前に定年退職を機に大阪から移住。在職中は主にビル工場の電気・機械エンジニアとして従事。25年前から趣味のステンドグラスを始め、現在は教室の講師として多くの人にステンドグラスの面白さを体験していただく活動を行っています。

●今後の志摩市について伺いたいとお願ひします。  
急速な少子化が進み、志摩市でも小中学校を統廃合して再編する動きがありますが、廃校となった小中学校をそのまま放置せずに、高齢者が生きがいを見つける場、ふれあう場として「人生の学校」として再編するような活動を是非、推し進めていただきたいと思います。

●志摩市でお勧めスポット(景色等)があれば教えてください。  
ドライブが好きでパールロードをよく走りますが、鳥羽市から磯部町(スペイン村)に入るまでに望める志摩半島のリアス式海岸が、まるで雲の上から見ようという、風光明媚なその景観はまさに絶景です。

●最近、気になることはありますか？  
産業が少なく、その影響と思いますが次代を担う若者が少ないように感じます。また、町の中心部でも元気がなく、寂しいように思います。少子高齢化も進んでいますが、同じような課題を持った地方都市も全国にたくさんあると思いますので、元気な志摩市に向けて是非、交流を図っていただきたい。

志摩市でびかつとひかる人を紹介させていただきます。  
●志摩市の印象はいかがですか？  
都会でもなく、田舎でもない、このごちんまりとしたところが大好きです。活動するとインパクトすればそのアウトプットが比較的早く得られる。このことは生活する上で、また趣味の活動を展開する上で、最適な環境と思っています。

## 議会のうづき

5月	6月	7月
13日 議会改革特別委員会	3日 議会運営委員会	30日 議会運営委員会
16日 長崎県諫早市議会視察来庁	6日 総務財政常任委員会	1日 岩手県陸前高田市議会視察来庁
23日 全員協議会	17日 総務財政常任委員会	2日 総務財政常任委員会
	18日 教育民生常任委員会	3日 産業建設常任委員会
	19日 産業建設常任委員会	4日 産業建設常任委員会
	20日 予算特別委員会	7日 議会広報特別委員会
		8日 教育民生常任委員会
		18日 議会広報特別委員会
		23日 宮城県名取市議会視察来庁

## 次回定例会の予定

《開催日時》

平成26年

9月2日～9月30日

《開催場所》

本庁舎 6階 議場・委員会室

※審議内容により変更する場合があります。

「しまし議会だより」はボランティア団体のご協力で、視覚障がいのある人に音訳(朗読)テープによる広報をお届けしています。

## 編集後記

志摩市には五つの宣言があります。交通安全、人権尊重、非核平和、新しい里海のまち、更に暴力追放。また、暴力団排除条例という素晴らしい条例も制定され、市民の安心安全を守っています。各地域において、ボランティアの協力を得、地域の見守りなど、防犯、防災に力を入れています。市民の健康を守る医療体制においても、市長、職員、議会議員が一丸となって取り組んでおりますが、課題は多く難問は山積みしております。市民の皆様の声を聞き入れながら、問題解決に向かい邁進していきたいと思ひます。皆様のご協力をお願い申し上げます。

上村 秀行

## 議会広報特別委員会

委員長 坂口 洋  
副委員長 中村 達久  
委員 渡辺友里夏  
委員 上村 秀行  
委員 中村 和晃  
委員 野名 澄代  
委員 西崎 甚吾